

2024年度版公務員試験対策シリーズ 正誤表

2023年6月23日
協同出版

弊社の出版物に以下の誤りがありました。謹んでお詫びするとともに、下記のように訂正いたします。

◆正誤表に掲載されていない正誤に関する疑問点がございましたら、下記項目をご記入の上、電子メール、FAX、または郵送にてお送りいただくようお願いいたします。

① 書籍名、都道府県(学校)名、年度
(例：公務員試験試験シリーズ ●●●●の大卒程度 20○○年度版)

② ページ数、問題番号

書籍に記載されているページ数、問題番号をご記入ください。

③ 正誤についての問い合わせ内容

内容は具体的にご記入ください。(例：問題文では“ア～オの中から選べ”とあるが、選択肢はエまでしかない など)

〔送付先〕

○ 電子メール：edit@kyodo-s.jp

○ FAX：03-3233-1233 (協同出版株式会社 編集制作部 行)

○ 郵送：〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5 協同出版株式会社 編集制作部 行

〔ご注意〕

○ 電話での質問や受験相談等につきましては、受付けておりませんのでご注意ください。

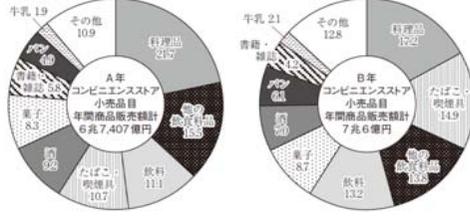
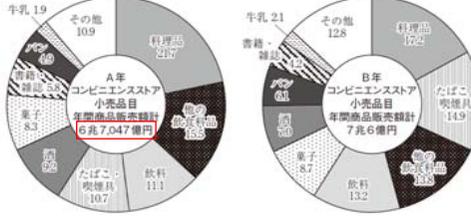
○ 正誤表の更新は適宜行っております。

○ いただいた疑問点につきましては、当社編集制作部で検討の上、正誤表への反映を決定させていただきます(個別回答は、原則行っておりませんのでご了承ください)。

地域	職種	カテゴリ	大問番号	誤	正
都道府県	般・短大卒程度(中級/II種)	数的推理 判断推理	28解答	4	2
		数的処理 数的推理	13解説 11行 目,13行目	Aの中の菓子に入っているチョコレートの割合： $\frac{36 - 0.03x + \frac{120 + 0.03x}{1200 + x}}{1200} \times 100$ これが5%になるので、 $\frac{36 - 0.03x + \frac{120 + 0.03x}{1200 + x}}{1200} \times 100 = 5$	Aの中の菓子に入っているチョコレートの割合： $\frac{36 - 0.03x + \frac{120 + 0.03x}{1200 + x} x}{1200} \times 100$ これが5%になるので、 $\frac{36 - 0.03x + \frac{120 + 0.03x}{1200 + x} x}{1200} \times 100 = 5$
		教養試験(社会科学・人文科学) 政治経済・社会・思想	35解説 13行目	少くとも	少くとも
			3解答	1	3

地域	職種	カテゴリ	大問番号	誤	正																																																																																																				
都道府県	一般・高卒程度(初級/Ⅲ種/Ⅰ類/C試験/B区分/行政B/職員B)	数的処理 判断推理	32解説	<p>(2) 立方体の数が最大の場合</p> <p>最大の数を考える場合、見えるところはその数とし、見えないところはできるだけ大きい数とする。</p> <p>まず、(1)より、①は3、⑥は5、⑩は4、⑭は3となる。次に、正面から見て左端の列は3段に見えるが、左から見るとどの列も3段以上に見えるので、⑤、⑨、⑬は3とすることができる。同様に考えると、まだ数が決まっていないマスはすべて3とすることができる。よって、次のようになり、立方体の数は51個となる。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>3</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr> <tr><td>5</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>⑦</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>4</td><td>⑨</td><td>⑩</td><td>⑪</td><td>⑫</td></tr> <tr><td>3</td><td>⑬</td><td>⑭</td><td>⑮</td><td>⑯</td></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>5</td><td>3</td><td>5</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr> </table> </div> <p>したがって、立方体が最も多い場合と最も少ない場合の差は、$51 - 27 = 26$ (個)となる。</p> <p>以上より、正解は1。</p>	3	①	②	③	④	5	⑤	⑥	⑦	⑧	4	⑨	⑩	⑪	⑫	3	⑬	⑭	⑮	⑯		3	5	4	3	3	3	3	3	3	5	3	5	3	3	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3		3	5	4	3	<p>(2) 立方体の数が最大の場合</p> <p>最大の数を考える場合、見えるところはその数とし、見えないところはできるだけ大きい数とする。</p> <p>まず、(1)より、①は3、⑥は5、⑩は4、⑭は3となる。次に、⑯は正面から見て5段、左から見て4段に見えるので、4とすることが出来る。同様に考えると⑦も4とすることができる。最後に①は正面から見て3段、左から見て3段に見えるので、①は3とすることができる。同様に考えると、まだ数が決まっていないマスはすべて3とすることができる。よって、次のようになり、立方体の数は53個となる。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>3</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr> <tr><td>5</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>⑦</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>4</td><td>⑨</td><td>⑩</td><td>⑪</td><td>⑫</td></tr> <tr><td>3</td><td>⑬</td><td>⑭</td><td>⑮</td><td>⑯</td></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>5</td><td>3</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr> </table> </div> <p>したがって、立方体が最も多い場合と最も少ない場合の差は、$53 - 27 = 26$ (個)となる。</p> <p>以上より、正解は1。</p>	3	①	②	③	④	5	⑤	⑥	⑦	⑧	4	⑨	⑩	⑪	⑫	3	⑬	⑭	⑮	⑯		3	5	4	3	3	3	3	3	3	5	3	5	4	3	4	3	4	4	3	3	3	3	3	3		3	5	4	3
				3	①	②	③	④																																																																																																	
5	⑤	⑥	⑦	⑧																																																																																																					
4	⑨	⑩	⑪	⑫																																																																																																					
3	⑬	⑭	⑮	⑯																																																																																																					
	3	5	4	3																																																																																																					
3	3	3	3	3																																																																																																					
5	3	5	3	3																																																																																																					
4	3	3	4	3																																																																																																					
3	3	3	3	3																																																																																																					
	3	5	4	3																																																																																																					
3	①	②	③	④																																																																																																					
5	⑤	⑥	⑦	⑧																																																																																																					
4	⑨	⑩	⑪	⑫																																																																																																					
3	⑬	⑭	⑮	⑯																																																																																																					
	3	5	4	3																																																																																																					
3	3	3	3	3																																																																																																					
5	3	5	4	3																																																																																																					
4	3	4	4	3																																																																																																					
3	3	3	3	3																																																																																																					
	3	5	4	3																																																																																																					
		数的処理 数的推理	3解答	2	1																																																																																																				

地域	職種	カテゴリ	大問番号	誤	正						
市・地区・広域	一般・大卒程度(上級/ I種/I類/A試験/A区 分/行政A/職員A)	教養試験(自然科学) 数学	8解説 6行目	$5^2 + x^2 = 132$ より,	$5^2 + x^2 = 13^2$ より,						
		教養試験(自然科学) 生物	8問題 (選択肢4,5が抜け)		<p>4 無機物から有機物を生み出す働きを持つのが生産者である。プランクトンや細菌はこれに含まれず、緑色植物が主な例として挙げられる。</p> <p>5 湖沼における生態系に大きな脅威を与えているのは硫黄酸化物や窒素酸化物である。被害の最大の原因は、雨が少ない地域の湖沼において、自然界に古くから存在する化合物の濃度が上昇したことにある。</p>						
		数的処理 数的推理	20問題	ある薬品の水溶液A, B, Cがあり、それぞれの濃度は次の表の通りである。また、AはBの重量と等しく、CはAの重量の半分である。この時、次の推論ア、イの正誤として最も妥当なものを選べ。	<p>ある薬品の水溶液A, B, Cがあり、それぞれの濃度は次の表の通りである。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>水溶液</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>濃度</td> <td>7%</td> <td>8%</td> <td>15%</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、AはBの重量と等しく、CはAの重量の半分である。この時、次の推論ア、イの正誤として最も妥当なものを選べ。</p>	水溶液	A	B	C	濃度	7%
水溶液	A	B	C								
濃度	7%	8%	15%								

地域	職種	カテゴリ	大問番号	誤	正
市・地区・広域	一般・短大卒程度(中級/II種)	教養試験(自然科学) 数学	3解説 12行目	$\Delta OBC = \frac{1}{2} \times 2 \times 2 \times \sin 90^\circ = 1$	$\Delta OBC = \frac{1}{2} \times 2 \times 2 \times \sin 150^\circ = 1$
		数的処理 判断推理	17解説 10行目	したがって、Fが前から2番目なのは⑧だけなので、この条件があれば8人の並び順が確定する。	したがって、Fが前から2番目なのは⑧だけなので、この条件があれば6人の並び順が確定する。
		数的処理 数的推理	4解説 10行目	〇〇×〇, 〇×〇〇, 〇×〇×〇, ×〇〇××, ×〇×〇〇, ××〇〇〇の6つが考えられるので、	〇〇×〇, 〇×〇〇, 〇×〇×〇, ×〇〇×〇, ×〇×〇〇, ××〇〇〇の6つが考えられるので、
		数的処理 資料解釈	8問題		
市・地区・広域	一般・高卒程度(初級/III種/I類/C試験/B区分/行政B/職員B)	数的処理 判断推理	9解説	切断面として考えられないのは、次のものである。	切断面として考えられるものは、次のものである。
			10解説	$\angle ABC + \angle ADC = 180^\circ$ また、 $\angle ABC + \angle PBC = 180^\circ$ より、 $\angle PBC = \angle ABC$	$\angle ABC + \angle ADC = 180^\circ$ また、 $\angle ABC + \angle PBC = 180^\circ$ より、 $\angle PBC = \angle ADC$

地域	職種	カテゴリ	大問番号	誤	正
都道府県	警察官・A(大卒程度/I類)	教養試験(社会科学・人文科学) 政治経済・社会・思想	1問題	2 一元的国家論は、国家を他の社会手段よりも優位とみなす立場を示し、その代表的な論客として、パーカーやラスキが挙げられる。	2 一元的国家論は、国家を他の社会 集団 よりも優位とみなす立場を示し、その代表的な論客として、パーカーやラスキが挙げられる。
		教養試験(社会科学・人文科学) 政治経済・社会・思想	44問題 選択肢5 44解説 選択肢5	5 原則として、任期中の国会議員を逮捕する場合、所属する院の許諾が必要となる。 5 正しい。任期中の不逮捕特権の例外として、現行犯逮捕が挙げられる。	5 原則として、 会期中 の国会議員を逮捕する場合、所属する院の許諾が必要となる。 5 正しい。 会期中 の不逮捕特権の例外として、現行犯逮捕が挙げられる。
		数的処理 判断推理	16解説 5行目	さらに、Bの発言①はうそ、発言②は本当となり「Bが6番目」が確定する。	さらに、Bの発言①は 本当 、発言②は うそ となり「Bが6番目」が確定する。
		数的処理 数的推理	18解説		
市・地区・広域	消防職・短大卒/高卒程度(初級/中級/II種)	数的処理 判断推理	28解答	2	4

地域	職種	カテゴリ	大問番号	誤	正
東京都	東京都のⅢ類	令和3年度	23解説 6行目	$\begin{aligned} & (\text{平成30年度の入園者数}) \\ & = (\text{平成29年度の入園者数}) \times \\ & \left(1 + \frac{\text{平成29年度の対前年増加率}}{100} \right) \end{aligned}$	$\begin{aligned} & (\text{平成30年度の入園者数}) \\ & = (\text{平成29年度の入園者数}) \times \\ & \left(1 + \frac{\text{平成30年度の対前年増加率}}{100} \right) \end{aligned}$
		令和3年度	24解説 4行目	② CはAとDに元の面積の $\frac{3}{4}$ だけ隠されているので、Bのすぐ下にある。	② CはAとDに元の面積の $\frac{3}{4}$ だけ隠されているので、Dのすぐ下にある。